



「描きやすい」 ↔ 「描きにくい」



今回の復習では、**描きやすい**イラストと、**描きにくい**イラストの話をもっと詳しく話してみます。

描きにくいイラスト？



まずは、次の4つのイラストを描いてみてください。

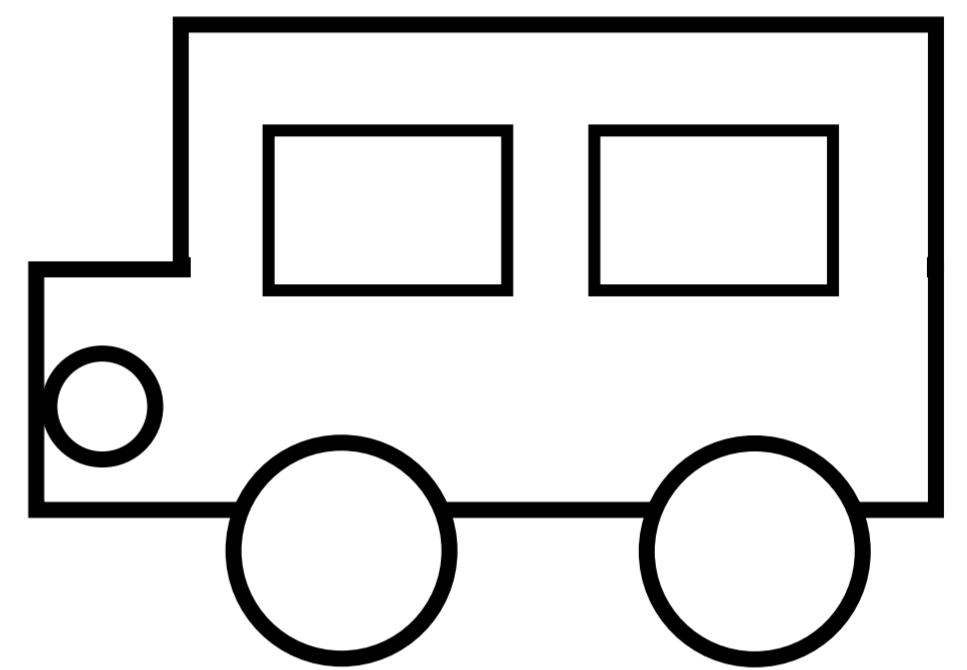
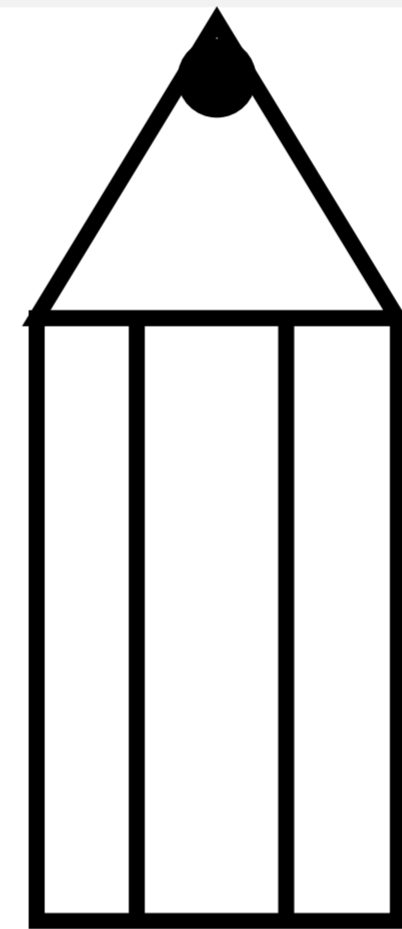
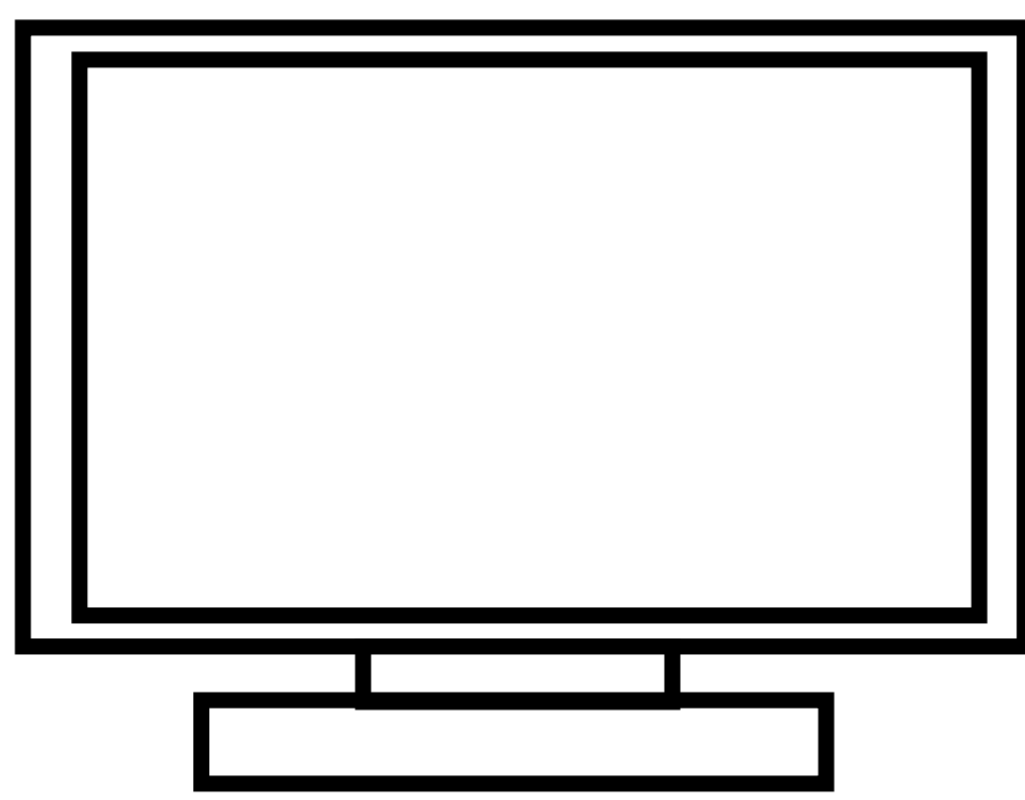
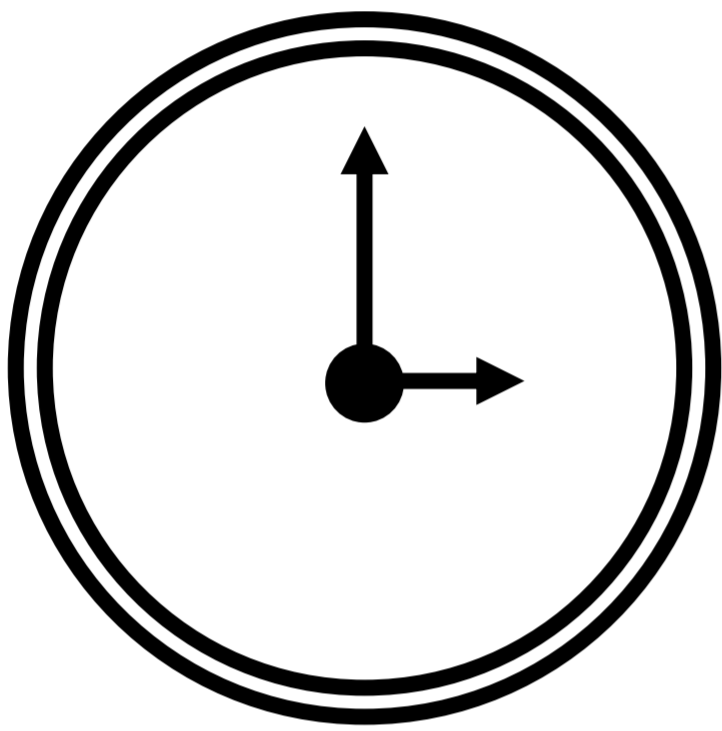
時計

テレビ

鉛筆

車

え〜と、時計は丸、テレビは四角、鉛筆は四角と三角だから…



こうかな！

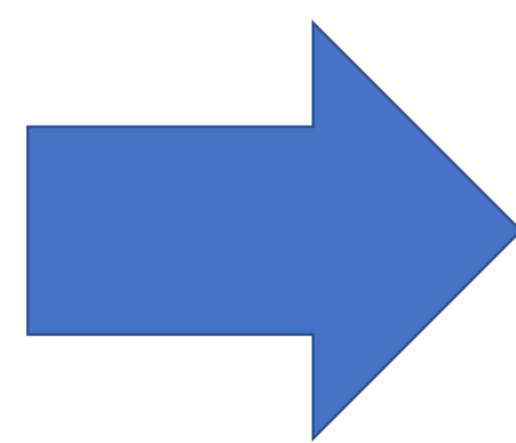


グラまるさんは「サッと」描くのが上手になりましたね。

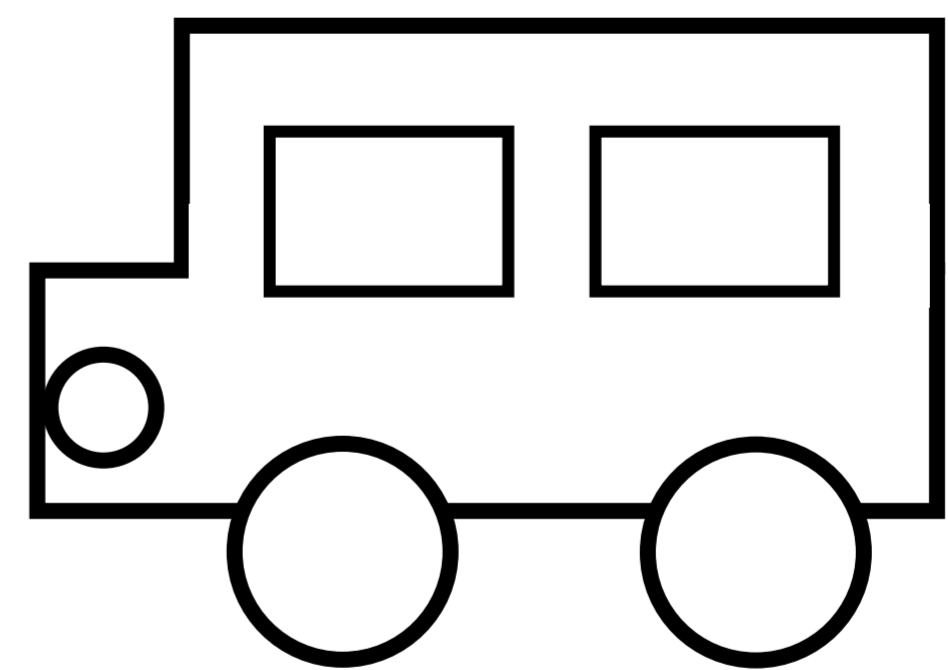
形を思い浮かべてから描くようになりました！
車は難しいので、屋根を簡単な四角にしました。



スズキ スペーシア



単純化
(簡単にする)



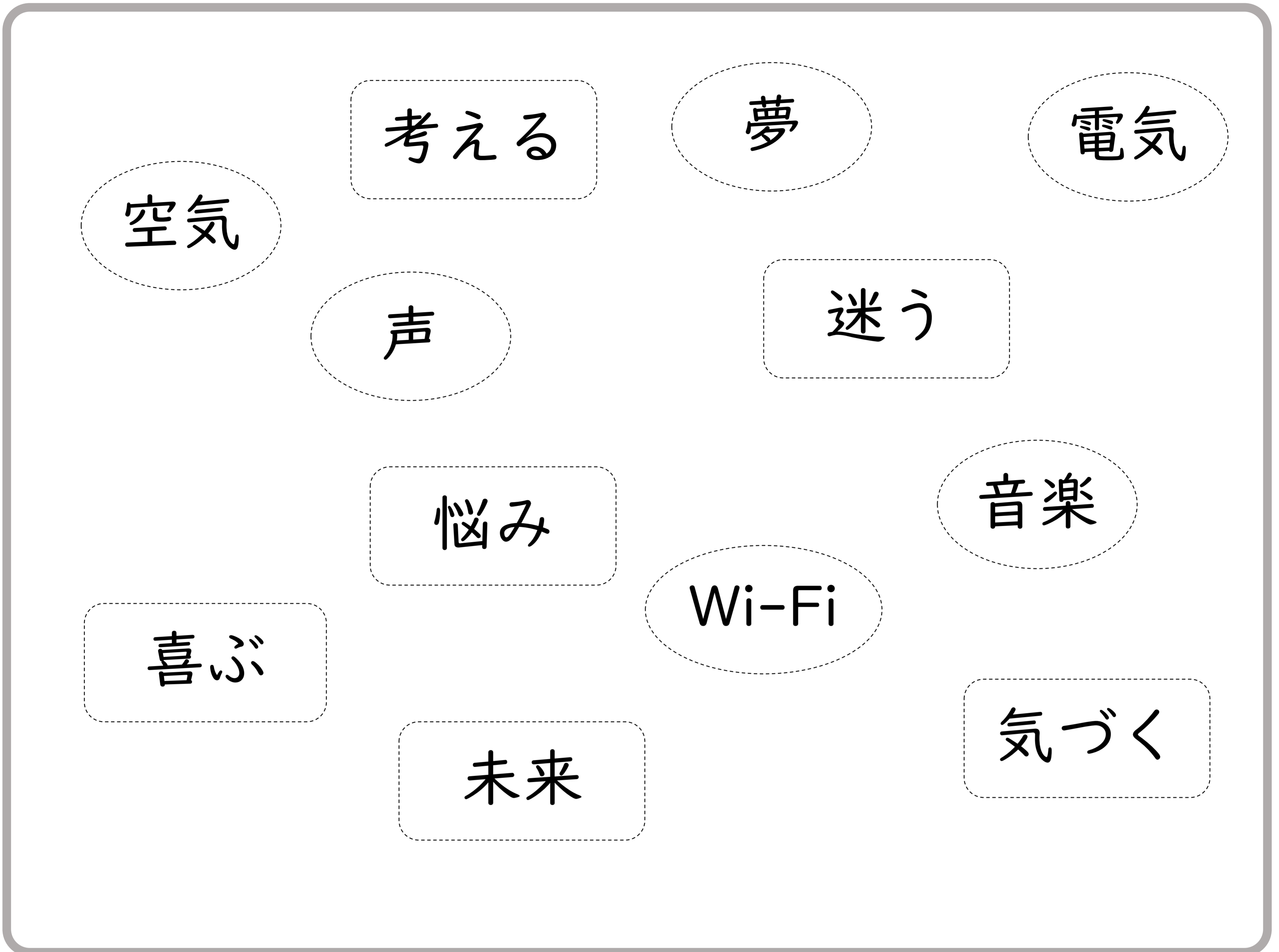
車のような複雑な形は、「単純化（簡単にする）」ことが大切ですね！



では、次に挙げるイラストはいかがでしょう？



具体と抽象の話



おお…。なんだか難しいです。



さっきと違いますよね。
これは「具体的」と「抽象的」の違いです。

「具体的」と「抽象的」？



「具体的」は目に見える形があります。
「抽象的」は目に見える形がありません。

そういわれると、空気や未来には形がありませんね。



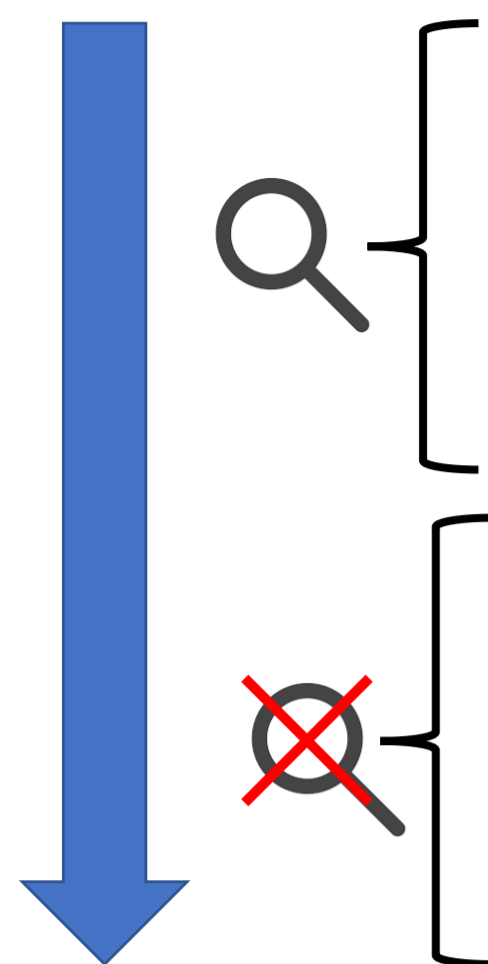
次のページのまとめを見てみましょう。



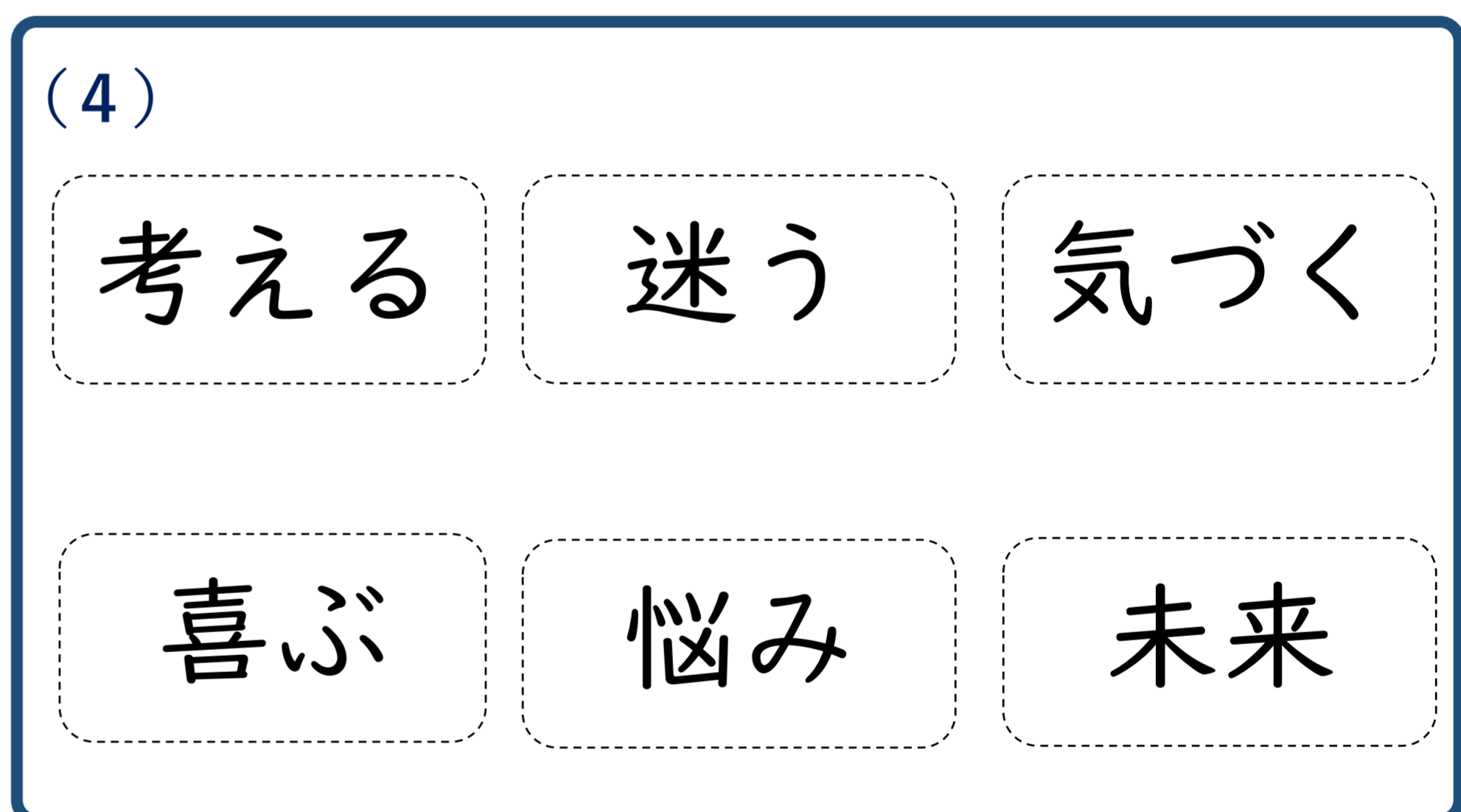
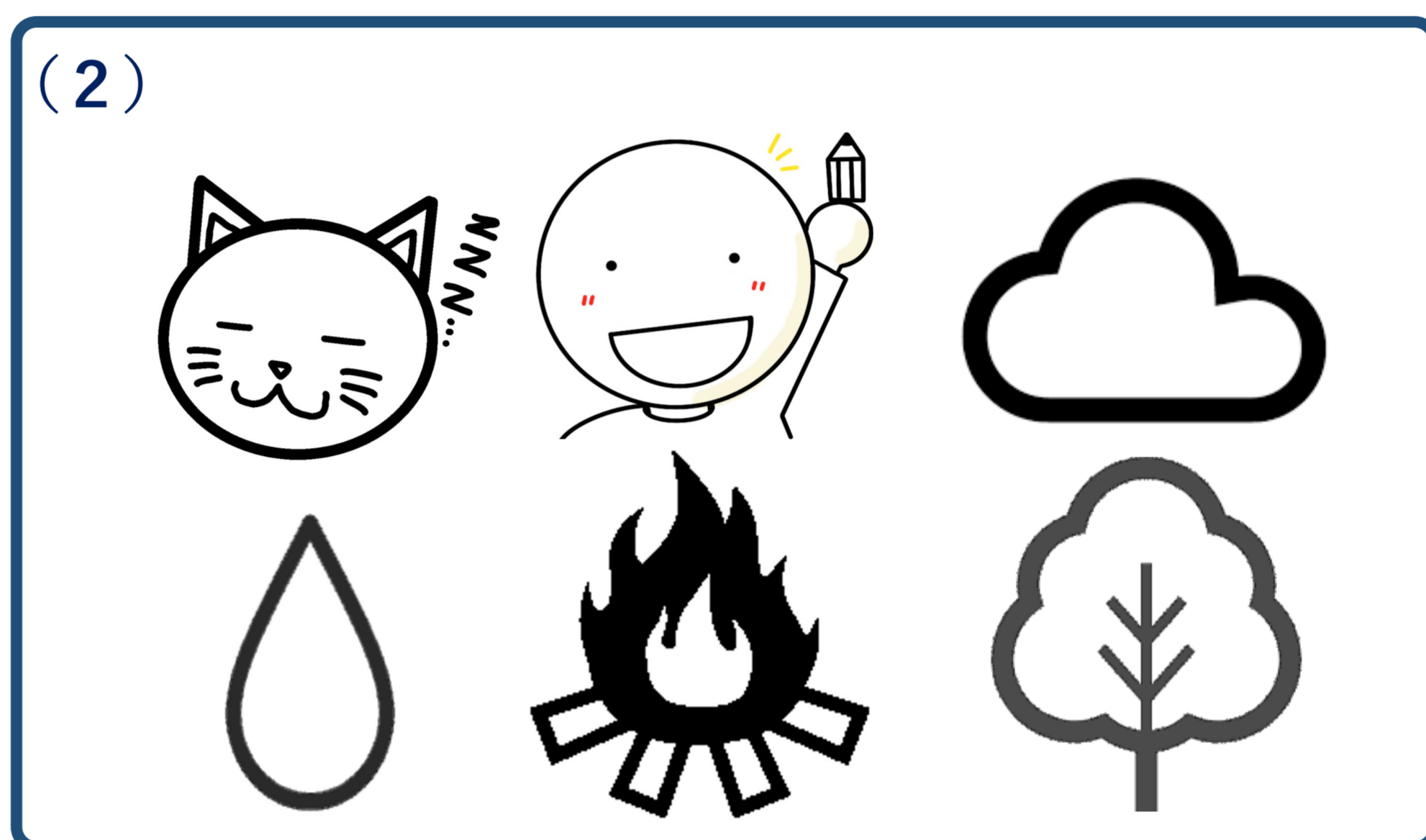
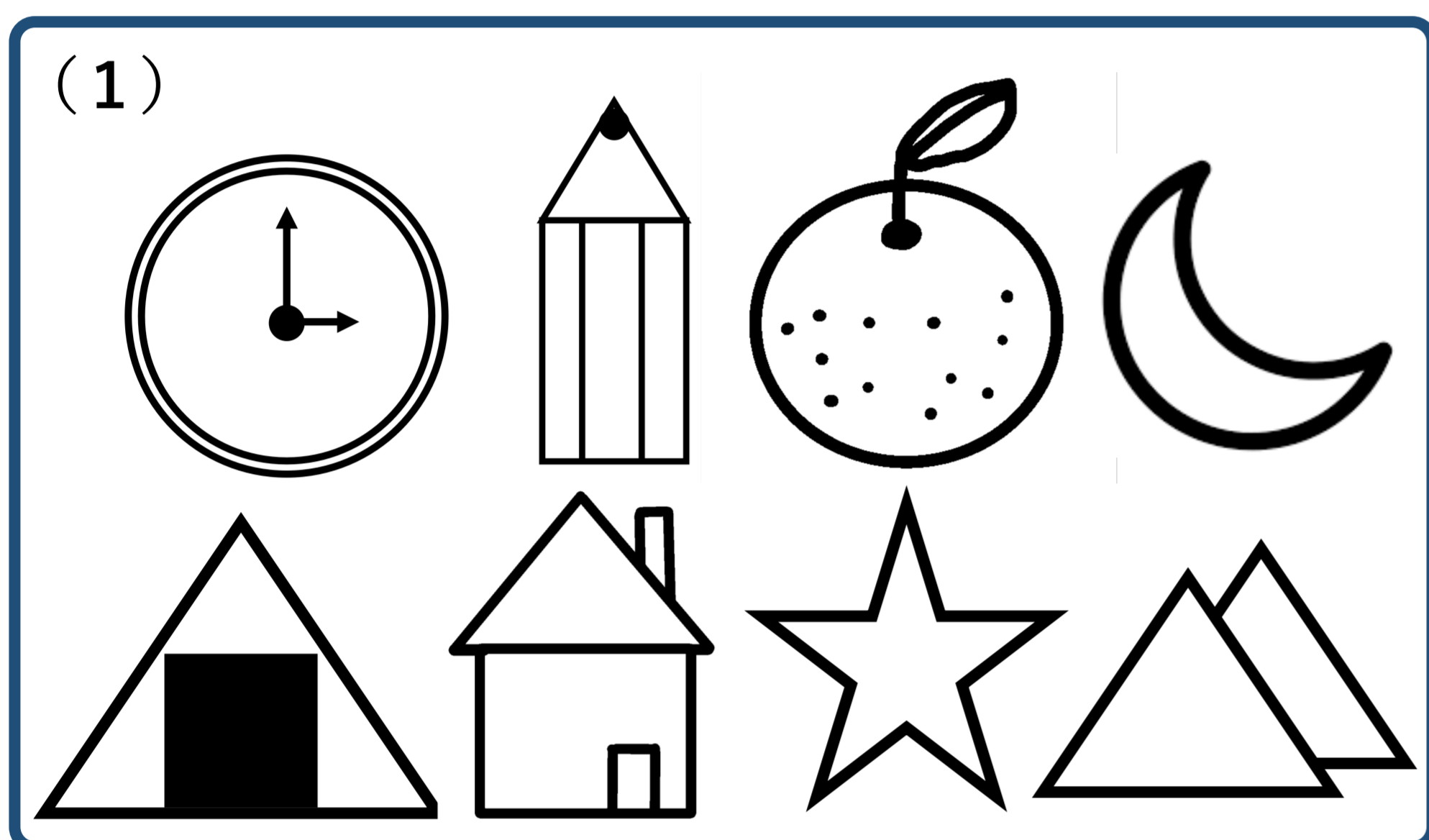
イラストの難易度



イラストは、一般的に下に行くほど描きにくくなります。



種類	特徴	例
(1)目で見える物 ①	形が決まっている (直線や丸でほぼ描ける)	人工物・一部の自然物
(2)目で見える物 ②	形が決まってない (曲線が多くなる)	自然・生物など
(3)目で見えない ①	そもそも形がない	空気・声・電気 など
(4)目で見えない ②	そもそも形がない	思考・概念・言葉 など



(3)と(4)はイメージが難しいですね。「どうやって描こうか」悩みます…



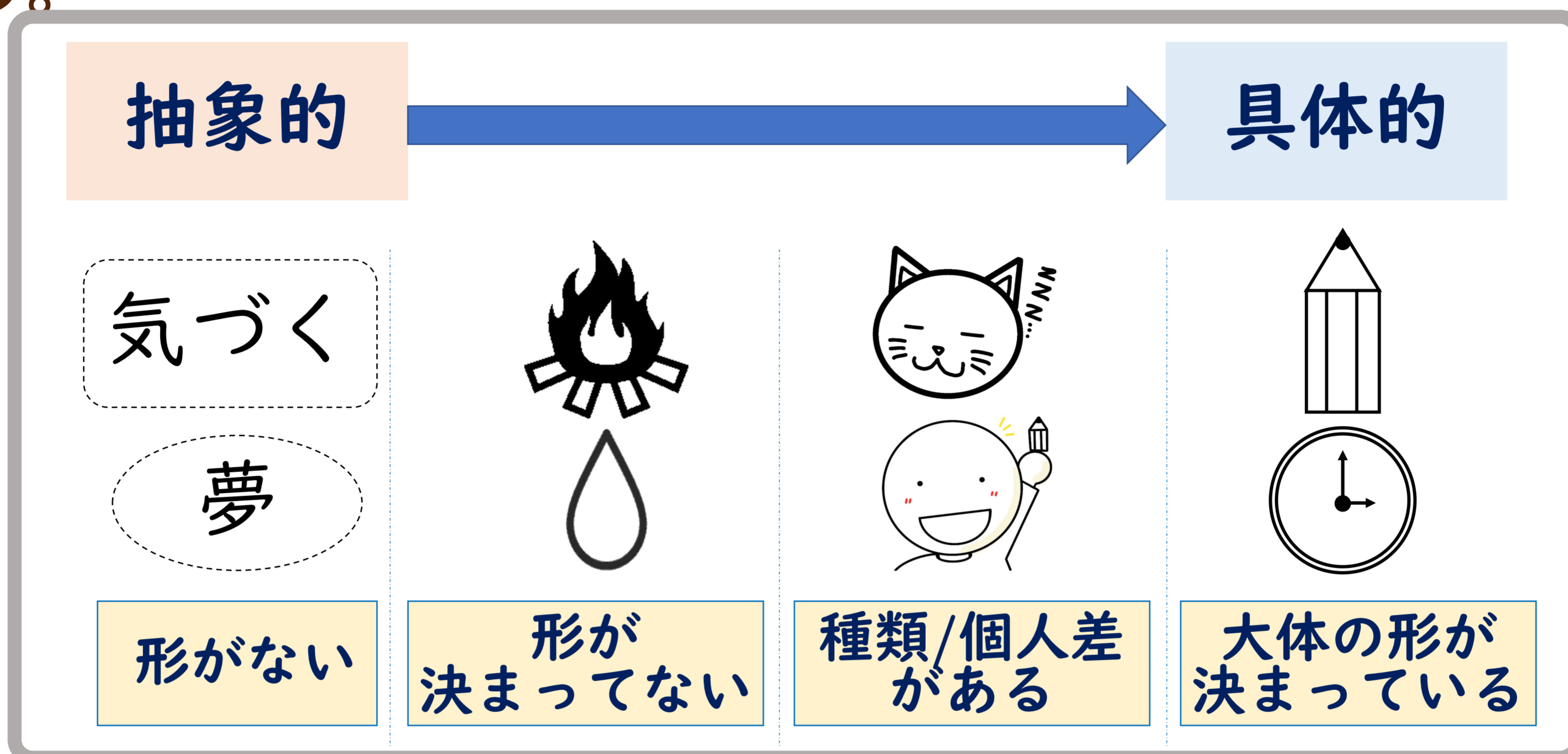
目に見える形があるものは「具体的」
目に見える形がないものは「抽象的」と言います。
なので、(3)(4)のように「抽象的」なものは、
①具体的な形でイメージする
②単純化する
という方法で描いてみます。



具体的な形でイメージする



まず「抽象的」と「具体的」のちがいをよく見てみましょう。



「抽象的」「形がない」イラストはどうやって描けばいいですか？



「具体的な形」でイメージすることです。例えば「気づく」を具体化してみましょう。何が浮かびますか？

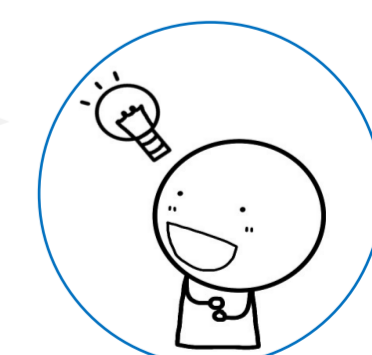
「気づく」だから、「人」です。あとは「豆電球」みたいなイラストですか？



そうすると、こんなパターンができそうですね。



なるほど！具体的になりました！ちなみにどれが正解なのですか？



イラストに「正解」はありません。あるとすれば、「分かりやすい/伝わりやすい」かです。自分が一番伝わりやすいと思ったものを描いてみてください！



グラまるを組み合わせて具体化する



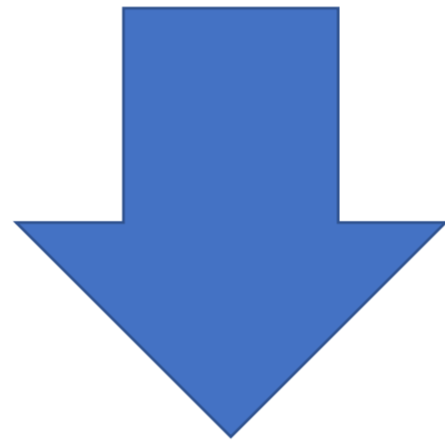
他にも「具体化」してみましょう。

(3)

空気	夢	電気
声	音楽	Wi-Fi

(4)

考える	迷う	気づく
喜ぶ	悩み	未来



空気	夢	電気	声	音楽	Wi-Fi
考える	迷う	気づく	喜ぶ	悩み	未来

(4)の方は、グラまるが多いですね。



「抽象的」の中でも「気持ち」「考え」などが多いため、「人イラスト」である「グラまる」を使うと表現しやすくなりますよ。

なるほど！



他の方法もありますが、「表情」は0.2秒で伝わります。グラまるをサッと描けるようにすれば。



番外編（オリジナルのグラまるを描こう）



グラまるに髪を描いて、
オリジナルキャラを作りましょう。

